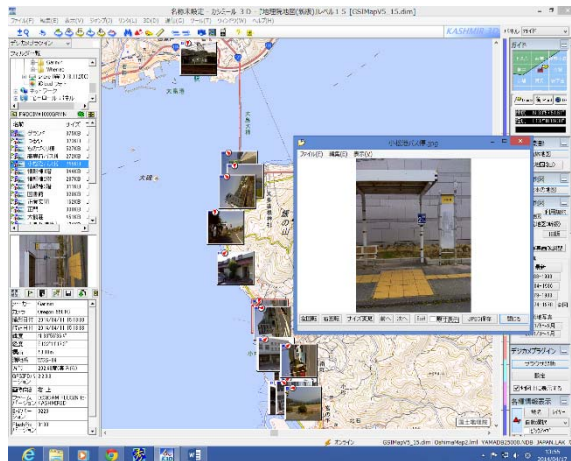


事業名	代表者所属	大島商船高等専門学校
13KJ-015	代表者	准教授 浦上 美佐子
「五感で減災を考える出前授業:住んでいる町の海拔を知ろう」の実施	開催地	周防大島町
	助成金額	10万円
活動概要	<p>日時: 2013年6月20日～2014年3月31日</p> <p>場所: 大島商船高等専門学校 出前授業先(5件)</p> <p>対象: 小中学生・先生・一般</p> <p>参加者(人): 合計約190名 (小中高の先生; 20名)(生徒; 130名)(保護者; 20名)(一般; 20名)</p> <p>内容: 五感で減災を考える授業</p>	



ハンディ GPS で取得した高度・位置情報のマップ化 (大島商船高専・学生通学路のマップ化 (一部抜粋))



ハンディ GPS を手に講義(高齢者向け PC 教室)



避難方法や海拔計算も含めた出前授業風景

事業の目的・ねらい

現在各自治体において、南海トラフ巨大地震における津波被害軽減を目的とした「海拔表示板」の設置が行われている。しかし、訪れる小中学校や講演先で、「海拔」とは何でしょうか？津波を想定した避難場所としての高さはどこが適しているのか？等、詳しい知識を持たないことが分かった。このような理由から、実際に自

分たちの手で、標高を測定する体験をし、海拔を計算し、津波避難場所をどこにするのかを定量的に決定する重要性を感じた。この「海拔を知る」体験は、第一のサバイバルに通じると考えている。

本事業では、ハンディタイプの高度計機能も有する GPS 受信機(市販レベルで、出来るだけ精度の高い気圧高度計を有し、誰もが利用しやすいタッチパネル方式を有する受信機)を使って、今、自身がいる「位置」の「海拔」を知ることで、津波避難時の目安になる「海拔」について深く考えることを目的とする。

事業の概要

本事業を通じて、自助のための減災情報に関連する様々な科学体験を行う。具体的には、GPS 受信の仕組み、津波発生メカニズム、海拔の定義と計算方法、情報の定性・定量の解釈方法や判断方法、複数の情報を連携させる考え方など、多くの情報に関する体験ができる。

使用する機器は、精度の高い気圧高度計機能を有するハンディタイプの GPS 受信機である。本機は、誰もが使いやすいタッチパネル方式、日本語表示機能を有している。また、PC 接続ケーブルも標準で付与されているため、フリーソフトウェアのカシミール3D と連携することで、測位場所の高度(標高)情報をマップ化する。さらに、カメラ機能もついているため、測位中に撮影された場所の画像も高度情報と共にマップ化する。

結果及び効果

●成果

出前授業:平成 25 年 6 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日:小学校(4 件)、中学校(1 件)

一般向けパソコン教室(テーマ:防災・減災):(1 件)

●効果:防災出前授業の講義の一部として本内容を実施した。また、高齢者向けパソコン教室の1回分の講義内容として本内容を実施した。屋外における公開講座を計画していたが、申込み人数が少なく開講できなかったことが残念である。アンケート結果より、「海拔」に対してより深く知った、避難時の目安にしたい、といった声が聞けた。本事業のノウハウを生かして、このような活動を継続していくことで、多くの人が自助を考える機会を増やすことに貢献したい。